

II 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き（表3、表4）

1. 鉄鋼業

6年の県内鉄鋼業の生産指数は76.6で、対前年比△6.7%減少した。これは鉄铸件、軽量形鋼等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は79.8（対前期比1.6%増）、4～6月期は76.2（同4.5%減）、7～9月期は71.7（同4.7%減）、10～12月期は77.6（同6.9%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は82.8で、対前年比△11.2%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は83.3（対前期比15.5%減）、4～6月期は80.5（同3.4%減）、7～9月期は80.7%（同0.9%減）、10～12月期は88.2（同10.6%増）と3期連続減少したが、再び増加した。

2. 非鉄金属工業

6年の県内非鉄金属工業の生産指数は106.0で、対前年比0.4%増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は103.7（対前期比0.5%減）、4～6月期は110.2（同6.1%増）、7～9月期は101.3（同7.7%減）、10～12月期は108.3（同7.0%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は160.1で、対前年比△11.1%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は183.0（対前期比5.6%増）、4～6月期は189.2（同3.2%増）と2期連続増加し、7～9月期は143.5（同23.9%減）、10～12月期は126.2（同12.1%減）と2期連続減少した。

3. 金属製品工業

6年の県内金属製品工業の生産指数は107.1で、対前年比3.0%増加した。これは、橋梁、アルミニウムドア等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は140.4（対前期比48.7%増）、4～6月期は93.9（同33.1%減）、7～9月期は104.5（同11.3%増）、10～12月期は86.5（同17.2%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は140.1で、対前年比△22.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は131.1（対前期比27.1%減）、4～6月期は135.9（同3.7%増）、7～9月期は142.1（同4.5%増）、10～12月期は154.5（同8.8%増）と3期連続増加した。

4. 機械工業

6年の県内機械工業の生産指数は、79.4で対前年比△7.1%減少した。また、在庫指数は、91.2で対前年比△2.2%減少した。

4-1 一般機械工業

6年の県内一般機械工業の生産指数は81.2で、対前年比△2.1%減少した。これは、化学機械、数値制御専用機等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は81.7（対前期比1.5%増）、4～6月期は80.4（同1.6%減）、7～9月期は76.7（同4.7%減）、10～12月期は86.4（同12.8%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は80.4で、対前年比△14.7%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は76.7（対前期比7.4%減）、4～6月期97.4（同27.1%増）、7～9月期は83.7（同14.1%減）、10～12月期は68.8（同17.8%減）と一時期増加したが、再び減少した。

4-2 電気機械工業

6年の県内電気機械工業の生産指数は80.9で、対前年比0.9%増加した。これは、パーソナルコンピュータ等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は83.7（対前期比9.5%増）、4～6月期は77.8（同6.9%減）、7～9月期は78.7（同1.0%増）、10～12月期は83.0（同5.4%増）と一時期減少したが、再び増加した。

一方、在庫指数の年平均は81.8で、対前年比11.5%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は87.8（対前期比10.1%増）、4～6月期は85.5（同2.6%減）、7～9月期は76.6（同10.4%減）、10～12月期は76.9

(同0.5%増)と増減を繰り返した。

4-3 輸送機械工業

6年の県内輸送機械工業の生産指数は77.8で、対前年比△13.4%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は84.7(対前期比6.1%増)、4～6月期は73.0(同13.8%減)、7～9月期は77.0(同5.6%増)、10～12月期は77.2(同0.3%増)と一時期減少したが、再び増加した。

一方、在庫指数の年平均は106.2で、対前年比△0.8%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は144.1(対前期比16.9%増)、4～6月期は130.3(同9.6%減)、7～9月期は90.0(同30.9%減)、10～12月期は76.7(同14.8%減)と3期連続減少した。

5. 窯業・土石製品工業

6年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は77.1で、対前年比△8.0%減少した。これは、みかき板ガラス等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は78.2(対前期比0.3%増)、4～6月期は77.0(同1.5%減)、7～9月期は78.5(同2.0%増)、10～12月期は74.8(同4.5%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は78.7で、対前年比△8.9%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は81.3(対前期比6.5%減)、4～6月期は81.0(同0.4%減)、7～9月期は78.7(同2.9%減)、10～12月期は73.6(同6.4%減)とそれぞれ減少した。

6. 化学工業

6年の県内化学工業の生産指数は92.3で、対前年比0.7%増加した。これは、塩化ビニル樹脂等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は89.5(対前期比0.6%減)、4～6月期は92.6(同3.5%増)、7～9月期は90.2(同2.7%減)、10～12月期は96.4(同7.0%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は108.3で、対前年比△1.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は108.8(対前期比2.8%減)、4～6月期は110.6(同1.7%増)、7～9月期は109.0(同1.6%減)、10～12月期は105.0(同3.6%減)と一時期増加したが、再び減少した。

7. 石油・石炭製品工業

6年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は116.3で、対前年比3.1%増加した。これは、C重油、潤滑油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は115.9(対前期比3.3%増)、4～6月期は125.0(同7.9%増)と2期連続増加し、7～9月期は119.0(同4.8%減)、10～12月期は106.3(同10.6%減)と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は105.8で、対前年比8.7%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は105.2(対前期比12.9%増)、4～6月期は104.6(同0.6%減)、7～9月期は113.1(同8.2%増)、10～12月期は100.0(同11.6%減)と増減を繰り返した。

8. プラスチック製品工業

6年の県内プラスチック製品工業の生産指数は106.7で、対前年比3.6%増加した。これは、機械器具部品等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は113.1(対前期比4.8%増)、4～6月期は104.3(同7.0%減)、7～9月期は104.3(同0.8%減)、10～12月期は104.2(同0.1%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は129.7で、対前年比1.7%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は123.9(対前期比2.2%減)、4～6月期は123.6(同1.4%増)、7～9月期は129.9(同3.4%増)、10～12月期は139.7(同7.6%増)と3期連続増加した。

9. パルプ・紙・紙加工品工業

6年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は98.3で、対前年比△0.1%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は94.2（対前期比5.9%減）、4～6月期は98.3（同4.4%増）、7～9月期は98.5（同0.1%増）、10～12月期は101.5（同3.1%増）と3期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は103.2で、対前年比3.6%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は97.4（対前期比5.8%減）、4～6月期は99.9（同2.6%増）、7～9月期は109.5（同9.2%増）、10～12月期は106.8（同2.1%減）と増減を繰り返した。

10. 繊維工業

6年の県内繊維工業の生産指数は90.3で、対前年比△1.1%減少した。これは、外衣ニット製等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は93.5（対前期比5.1%増）、4～6月期は93.9（同0.5%増）と2期連続増加し、7～9月期は91.0（同3.2%減）、10～12月期は83.3（同8.4%減）と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は111.9で、対前年比4.5%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は109.2（対前期比3.4%増）、4～6月期は115.1（同5.5%増）、7～9月期は115.7（同0.5%増）と3期連続増加し、10～12月期は108.2（同6.5%減）と減少した。

11. 食料品工業

6年の県内食料品工業の生産指数は93.5で、対前年比△6.8%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は92.4（対前期比9.5%減）、4～6月期は98.6（同6.3%増）、7～9月期は92.3（7.1%減）、10～12月期は93.1（同1.2%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は106.1で、対前年比△9.0%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は108.6（対前期比7.8%減）、4～6月期は108.4（同0.1%減）、7～9月期は106.9（同1.4%減）、10月～12月期は100.6（同5.9%減）とそれぞれ減少した。

12. その他工業

6年の県内その他工業の生産指数は99.5で、対前年比△0.4%減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業6.3%、家具工業20.9%、木材・木製品工業△11.2%、その他製品工業△8.6%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期は103.9（対前期比8.0%増）、4～6月期は95.6（同8.0%減）、7～9月期は102.7（同7.4%増）、10～12月期は96.8（同5.7%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は86.3で、対前年比△12.2%減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業△9.4%、家具工業6.3%、木材・木製品工業△15.8%であった。これを四半期別にみると、1～3月期は92.8（対前期比2.2%増）、4～6月期は86.8（同6.4%減）、7～9月期は80.5（同7.4%減）、10～12月期は85.6（同6.5%増）と増減を繰り返した。

13. 鉱業

6年の県内鉱業の生産指数は100.8で、対前年比1.5%増加した。これは、石灰石等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は103.8（対前期比4.1%増）、4～6月期は93.2（同10.2%減）、7～9月期は106.8（同14.6%増）、10～12月期は98.7（同7.6%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は125.7で、対前年比△1.5%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は135.1（対前期比1.4%減）、4～6月期は126.9（同6.0%減）、7～9月期は126.2（同0.6%減）、10～12月期は115.0（同8.9%減）とそれぞれ減少した。

14. 公益事業 (参考)

6年の県内公益事業の生産指数は109.3で、対前年比11.1%増加した。これは、電力が増加したためである。四半期別に移をみると、1～3月期は129.4(対前期比42.2%増)と増加し、4～6月期は86.6(同33.0%減)、7～9月期は107.6(同24.2%増)、10～12月期は112.4(同4.5%増)と一時期減少したが、再び増加した。

